



## ◆演題 『十八歳からの十年介護』

～車椅子の母と過ごした奇跡の時間～

講師／町 亞聖氏



障がいや認知症を抱える家族など「生きづらさ」を感じている人を少しでもなくしていく、そういう人たちに寄り添っていく活動をライフワークとされるフリーアナウンサーの町 亞聖氏。

本講演会では介護保険のない時代に、ご自身が《ヤングケアラー》の体験をされた町亞聖氏に、ヤングケアラーが抱える介護や貧困の問題などのお話しと、さらにお母様の介護をきっかけに取材を続ける認知症や障害者などより広い範囲の「生きづらさ」を地域社会が認識することにより、少しでも当事者・関係者の負担が軽くなること等の意義についてお話をさせていただきます。

### 2022年10月8日 土

開場 14:00 開会 14:30

入場無料 全席自由

定員までどなたでも入場出来ます

### 取手ウェルネスプラザ 多目的ホール

(JR 取手駅西口より徒歩 3 分)



私たち茨城県南立教会は、茨城県南部に在住・在職する立教大学卒業生の校友会組織で、校友同士の親睦のほかに、立教大学関連の文化・科学などの話題を「公開講演会」のかたちで地域の皆様に提供する活動をしています。今回は演題に絡み、NPO 法人「とりで市民後見の会」との共催となりました。

※ 10 月 8 日が、茨城県で新型コロナウイルス感染対策として「まん延防止等重点措置」もしくは「緊急事態宣言」の対象期間となった場合は、対面の講演会を中止し、WEB 講演会のみとなります。

この講演会は 11 月 1 日より **YouTube** で、どなたでも視聴できます →

QR コードまたは『立教大学校友会 youtube』で検索のうえご視聴ください。



これまでの  
講演会はこちら

◆2020年  
「はやぶさ 2 の旅」  
～第二の地球はあるか?～



◆2021年  
「断家が話す落語のはなし」  
～自由の学府から落語界へ～



共催／茨城県南立教会・NPO 法人とりで市民後見の会  
後援／立教大学・立教大学校友会・取手市・取手市社会福祉協議会

お問い合わせ／kouen.annai@gmail.com

「NPO 法人とりで市民後見の会」は、高齢者や障がい者を対象に成年後見や権利擁護に関する相談や援助支援事業を行い、高齢者や障がい者が「安心」かつ「安全」に暮らせる地域社会の実現に寄与することを目的として 2015 年 12 月 15 日に設立されました。



## 町 亞聖 プロフィール

1995年立教大学文学部英米文学科卒。

小学生の頃からアナウンサーに憧れ、1995年日本テレビにアナウンサーとして入社。その後、活躍の場を報道局に移し、報道キャスター、厚生労働省担当記者としてがん医療、医療事故、難病などの医療問題や介護問題などを取材。“生涯現役アナウンサー”であるために、2011年にフリーに転身。

脳障害のため車椅子の生活を送っていた母と過ごした10年の日々、そして母と父をがんで亡くした経験をまとめた著書「十年介護」を小学館文庫から出版。医療と介護を生涯のテーマに取材、啓発活動を続ける。

直近では念願だった東京2020パラリンピックを取材。  
(町 亞聖公式ブログ <http://ameblo.jp/machi-asei/>)



### <出演番組>

☆ラジオ日本 あさ6時30分～8時50分生放送  
【町 亞聖のスマートNEWS】木曜パーソナリティー  
<http://www.jorf.co.jp/?program=smartnews>



☆ニッポン放送 毎週日曜あさ6時25分～6時45分  
「ウィークエンドケアタイム「ひだまりハウス～うつ病・  
認知症について語ろう～」  
<https://www.1242.com/hidamari/>



### <書籍>

18歳の時に母の介護に直面しヤングケアラーの当事者になった日々を綴った書籍  
「十年介護」(小学館文庫)  
<https://www.amazon.co.jp/十年介護-町亞聖-ebook/dp/B00DZAR096>



### <ボランティア活動>

●東京2020オリパラを車椅子ユーザーと一緒に観戦することを目標に活動した  
"ゆめ旅KAIGO! 2020"が作成したガイドブック  
<https://www.amazon.co.jp/ゆめ旅ガイドブック-足腰に不安のあるシニアの方が行く-ゆめ旅KAIGO-2020実行委員会・ゆめ旅ガイドブック編集委員会-ebook/dp/B08MQL4XPN>

●ゆめ旅KAIGO! 2020の活動の記録  
<https://www.oriparakaigo.tokyo/>

